

ほめる



ほめる・みとめる

オレンジカード 西部こども C@山形





繰り返し伝えて理解を待つ (イライラを抑えて)





一緒にやってみよう!次か らどうしたらいい?と一度 練習させる



代わりにする行動 を明確にして提示



~してね、~してほしい 分かりやすい行動で伝える。 ×ちゃんと ×しっかり



環境づくり



いつも ちかづいて おだやかに しずかな

人や場所も環境で こどもの刺激にな ります。

オレンジカード 西部こども C@山形



約束



事前の約束。次に〇〇した ら、〇〇しようね。



共感する・気持ち に理解を示す



「~したいんだね」「気持ちは わかるよ」+「我慢できてえら いね」と次の行動に誘う。

オレンジカード 西部こども C@山形



落ち着く



深呼吸する、数を数える、 場を離れ落ち着く



ほめる



よいこと、できていることを具 体的にほめる、認めると「その行 動が良かった」と教えることに なります。

具体的にとは、よかった行動や 態度を言葉にするということ。 例えば、ありがとうって言えた、 箱におもちゃを入れた、お店で 手伝ったなど、目に見える行動 をそのまま「できたね」と伝える こともほめるです。

オレンジカード 西部こども C@山形





「〇〇してないじゃない!何し てたの? 「さっき言ったでしょ」 とついイライラして言ってしま うことありますね。して欲しいこ とを伝えても何もしていないこ ども、よくあります。ここで、落 ち着いて、もう一言、「〇〇しよ うね」とこどもの注意をしっかり 引いて伝え、やりはじめるのを待 ってみましょう。こどもができた 際には「できたね。えらい!」と ほめることができます。

オレンジカード 西部こども C@山形



練習

こどもにして欲しいことにつ

いて、親からすると「できるは

ず」と思いこんでいることがあ

ります。でも本当にそうでしょ

うか?もしかしたら、小さなつ

まづきや苦手な部分があって、

うまくできない時があるかも

しれません。片付けや学校の準

備などまず一緒に練習して、こ

どもの「できる」を確認しまし

ょう。時間にゆとりを持てる時



代わり の行動



人の脳は「〇〇してはダメ」と 否定されるより「〇〇しよう」 と指示されるほうが従いやす いと言われています。

して欲しい行動や代わりの行 行動を伝えるときにはやって みましょう。「お店で走り回ら んよ」ではなく、「お店ではお 母さんの横で物を取る手伝い をしてね。」です。コツは具体 的な行動でこどもがイメージ できる行動を伝えることです。

オレンジカード 西部こども C@山形



しましょう。

乳児の場合は危ないものは触

れない場所におくなど「触って

はダメ」と叱らずに済む環境に

なっているか、生活環境を見直

こどもが困った行動をする場

合、こども自身が困っている場

合もあります。こどもの周りの

人や状況はこどもにとってす

べて環境です。こどもが自分で

できるようになる工夫は親に

とっても楽になる工夫です。





約束



よく叱ってしまう場面が予測で きるときに事前に約束をしてみ ましょう。公園から帰り渋るこど もに、「お母さんが帰ろうって3 回言う間に車に乗ってほしいの。 約束しよう」と事前にお約束。3 回目、ぎりぎりでも出来たら「で きたね! 」とほめることになりま す。約束があることで声をかける ときのイライラもコントロール できます。簡単でできそうなもの から取り組むとよいです。



私たち大人でも、相手が自分の

意見に相槌やうなづきをして

くれると安心します。こどもも

同じで、「〇〇したかったんだ

ね、分かるよ」と気持ちに寄り

添ってもらえる経験はとても

大切です。もちろん、認められ

ない行動や教える必要がある

ことが山盛りで共感どころで

はないかもしれません。10回

中数回でも共感しつつ、してほ

しい行動を伝えてみましょう。

にやるのがコツです。



オレンジカード 西部こども C@山形



いったん深呼吸がすぐにでき る方法です。ためいきではない ですよ®

落ち着くプランはひとそれぞ れ。自分のプランをみつけまし よう。

人の感情は相手に伝わりやす いもの。親がヒートアップする とこどももそれにつられるこ とがあります。まずは落ち着い て、してほしい行動を伝えると 叱りながら言うより効果的!

オレンジカード 西部こどもC@山形

オレンジカード 西部こども C@山形

オレンジカード 西部こども C@山形

オレンジカード 西部こども C@山形